





扶養下幼弟四

百くとうも心 契養の神祿夏想也 古道せは
ある人し。さらは名づらし身ハ神即位あるべき
る也

一 淨彦淨眼乃 妙莊嚴王ハ惡王ありくましく
たりは二人の肉子と肉母の淨徳主人と 雲雷
觀宿王祀智れたりとめてさとりとひくまの
悪王ハ道引をもぐぬ中として神徳及極好
あつくみきくもあられを父王ハは飲たして非見
とせくふし佛あり 猶あつくまの聖者と水
好ひぬと時ハ妙莊嚴王ハ今の花徳弁也淨法



扶養下幼弟四

一人をこの仏教先照在處并也 淨為淨眼
 ハレの業王業上乃女并也
 一舍利弗劫濁亂時衆生垢重慳貪嫉妬成就諸不
 善根故諸佛以方便力於一佛乘八分別說三十
 方世界之六事并ハ二業三業乃法ハる也
 一隣の内まへ 殊勝也
 一つともむととも 入道尼君ハ乃女の内并
 一つしふもぶ 友引の佛道世れり云卷ト終り
 一つさるり 心ゆく心ひ致行へる尼並でハ推
 ともあられごとく心むじともり
 一もれりり 引され行へる心むれ行へる也

一 ぢやうよさの終り
 一 一もれりり 心ゆく心ひ致行へる也
 一 ともあられごとく心むじともり
 一 引され行へる心むれ行へる也
 一 つともむととも 入道尼君ハ乃女の内并
 一 つしふもぶ 友引の佛道世れり云卷ト終り
 一 つさるり 心ゆく心ひ致行へる尼並でハ推
 一 ともあられごとく心むじともり
 一 もれりり 引され行へる心むれ行へる也
 一 ぢやうよさの終り

一室のく 母院に独冷の時志るぬ女所居也
奇を明あり

一室のくぬ 柳也

一柳もあし ともハ母院ゆくありまじし
也母院はありまじしとありしと也

一院志りしと 母院とまじしとありしと也

一三千のんみ世界一源流千と小千世界と号せし
小千世界と中千世界と号せし中千世界を

千が三千大千世界也三十二相佛のたねは
佛のたねは親が三十二ある也

一式部心文上ハ 中務宮の妹也 中務宮ハ
中務宮のたねは

兄の長女也と云ふ
一妹乃のいさむら 妹也入るもいとせはるる
もあしとく人あそりあはれ源氏のま
乃ん源流をたねりあそりあはれと
ハ位は即ち源相也

一さても 心の中はありあると妹乃はあは
れあはれハ愛のうかりんと也

一もあしや奇 源相のち也

一もあしにあはれんやあはれん 盲亀の浮来ハ
いさむら也

一もあしとくあはれんやあはれん 世中とあはれんやあはれん

兄の長女也と云ふ
一妹乃のいさむら 妹也入るもいとせはるる
もあしとく人あそりあはれ源氏のま
乃ん源流をたねりあそりあはれと
ハ位は即ち源相也

の我もと云らん 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

一 くらねのや ありては 神はあまもはたしれ安んぬ人
とあはれじと也

さやけき
 一八公^ハを深志^ハを事^ハ家^カのさび——と云ふ人へと云ふ
 林をささあかり
 一柳のやからと云ふ 玉うらうらにえぬ物もさしよの
 卒ねはるらと云ふはあや一教のしび
 一庭に立ち年のはりうらうら今がさうも思あて物
 していりたと云ふ也
 一十^ト節^ノありさとも おうあり
 一我もと又 さな^ナ一十^ト節^ノと云ふ也 孫ぬたにたて
 一ト愁^トな^トと云ふと云ふとあなはちさのしりはひが
 一しれん也云へハ一節^ト又ハあやぬ娘をいふ海流毎も

此のうふ思孫と云ふ也
 孫ぬたのうらうらと云ふ人へと云ふも我を益國
 のりりうらうらと云ふあやもこのやあり也
 一あさぬへふらち たぬへと云ふハ命^ヲたぬと云ふ也 又娘
 思と云ふや孫と云ふと云ふ也 あさぬへと云ふは也
 一高得水
 一玉のや乃娘思
 一歌^ク代^ト人^ノ歌^ク 孫^ノ氏^ノ 宇^ツ治^ノ 春^ノ 巻^ノ 乙^ノ 抄^ノ
 一歌^クま^ノび^ノ乃^ノ一^ノ 宇^ツ治^ノ 春^ノ 巻^ノ 乙^ノ 抄^ノ
 一あやのの歌^ク 孫^ノ氏^ノ 宇^ツ治^ノ 春^ノ 巻^ノ 乙^ノ 抄^ノ
 一と云へて孫ぬと云ふは 宇^ツ治^ノ 春^ノ 巻^ノ 乙^ノ 抄^ノ 外^ニ あり

丸ねとあうとぬとささる〜
 と乳母乃独さくハハクもや
 一若の能くぬれま也
 一とさや源氏の御
 一一首のまふ奇〜
 一而能し〜
 一りのかりみの花乃枝さ〜
 一ぬえともぬ奇〜
 一よりのなリ奇〜

のま乃長せく〜
 一あ〜
 一あちうち中及娘君也
 一とさ〜
 一十神 十齋 具申
 一取落法茶 あり〜
 一先相不絶
 一とさ〜
 一と正屋〜
 一中納戸大納言屋〜

伊勢物語
 卷四

一 くらゐん 押役
 一 四つりあやし 舞のうらりまばめるんあさるんし
 一 つけさうひあやし へちまうらりまはくろり舞也
 一 さきへきーむくろりあめのも也
 一 せんろりり 先代を用いーしてとも也
 一 一層のほきーも ちまきほがねんうらりかんをさ
 一 んやまーく 踏か 宰相踏かをもさへて荒た
 一 んやまーみまーく ちまきほがねんも也 くらばちんみまー
 一 ちまきほがねんも也
 一 見ゆりあやし 一 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー
 一 てねまはみまーく へちまうらりまはくろり舞也 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー

奇妙也
 一 十五日月也 粥乃杖ゆくおちちまのち勅 禁中
 一 ちまきほがねんも也 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー
 一 ちまきほがねんも也 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー
 一 ちまきほがねんも也 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー
 一 ちまきほがねんも也 ちまきほがねんも也 くらばちんみまー

一 勢光 善隆の極位也十位十行十廻自十
 地勢も善光の妙光 是を別教の四十二位とす也
 妙光の位也
 一 水の白波ある所あり 江ももれんちるべし
 源氏定住 春あり
 一 光なりあまん奇 ときも又は奇なりとす
 一 月さふと 源氏又は奇也
 一 舟は あり
 一 慈徳あり 車小七車はそあり
 一 あり 八七車は奇ありとす
 我

一 額久く 縁ありとす如れらうとす
 一 くらりあり 内へ 娘も我道りとも
 一 今上あり 娘も我道りとも
 一 もゆるさる 娘も我道りとも
 一 のあり 源氏乃又の位奇也
 一 衣あり 源氏の位奇也
 一 燕子樓中 霜月夜秋来只為人長
 一 源氏也 源氏也
 一 源氏也 源氏也

こころ也 此云 妙術の人形なるべし 此云

一八海と信弄 くらまあり 今上

一神垣の杖 同あり

一はせふはとうや 春よふ休あづる時乃 夏中

の奇也

一見さうてまうり 一乗流一説のまよゆもて也

一ま今との西子おきて 八海磯院 浄子 昔説とや

一まもり也 浄元殿の御ふるとありてえれはた

一まべー 一年はさる水弄 くれちり 今上

一まふくはまち然ちあふるるを説くことと 物土也

一立入り中まの信弄 今よの入道まの信弄

一まぐと也 引弄 一魚の野中此清水ぬるれ

一まもりの心張ある人ぞらむ

一まはり 一えぞあつとんともま ちまめ

一まはり 今上

一あまがりしあ あまんるりくらのてふちるべ

一佛とあぬまのせ川 止く 杯顔説 方便

一佛とあぬまのせ川 舎利弗の徳 一やこれける

一相懸 今よの一まあなるべ

一三又 花鳥の井乃 君の娘也

一故交 後一多あ儀の由りや也也也也今余思ふごとくそ
う後より之をなまらんと今上と云ふは也也

一いとも 寂 ちし 一 波のあひあてはあさ

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一いとも 也

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

一 月 東 同

源氏結朱結雀結虎結の結仍結幸結小結の結は結も結ら結之結衣結

乃結は結ゆ結き結と結も結入結持結き結と結あ結り結と結也結

一結法結と結て結く結也結む結ね結 今結上結

一結あ結ら結く結り結回結

け結物結終結の結も結て結は結源結氏結着結は結浮結橋結乃結西結彩結也結

少結年結と結書結を結あ結て結持結り結く結也結此結と結免結了結ら結四結冊結

と結全結部結と結い結ら結あ結る結べ結し結ら結り結系結と結一結坂結生結の結人結

あ結ら結く結べ結し結

天正十九年三月九日

臨江齋

法眼紹巴

狭衣下紐第四終

斯結と結こ結ろ結も結此結系結借結を結西結之結條結道結道結遠結院結

入結道結竟結空結尊結者結の結法結化結を結心結精結撰結る結ら結

一結一結の結こ結ろ結他結本結を結あ結ら結免結換結合結す結ら結ま結

展結轉結書結寫結の結あ結や結古結も結ち結小結損結腐結の結文結字結

又結前結後結の結錯結亂結あ結ら結は結是結犯結を結和結さ結

ま結ら結く結こ結き結と結こ結ろ結く結本結古結も結考結合結て結清結

寺結と結し結ら結む結日結千結の結村結逢結應結甲結午結歲結仲結

夏日東京黃臺山釋野切臨叟誌々

應之甲午歲孝姑吉辰

為九通二条上二町目

三木氏親信梓行

